

平成 28 年度 第 2 回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 平成 28 年 11 月 17 日（木）午前 10 時 00 分～

【会 場】 磐田市クリーンセンター 研修室

【出席者】 会 長 府川 光利
副会長 川島 あつ江
委 員 杉浦 聖 玉田 文江
稲垣 幸子 今泉 佳代
宮地 浩 清野 英明
伊藤 慎弥 虫生 時彦
村岡 ジョルジ 川合 秀実
鎌田 俊己 寺本 勝児
順不同（14 名出席）

（欠 席 菊池 潤一）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ減量推進グループ長、審議会担当職員 2 名

【会議概要】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - ・平成 29 年度ごみの排出削減に向けた取り組み（案）について
 - ・平成 29 年度一般廃棄物処理実施計画（案）について
4. 報告
 - ・今年度の主な取り組み
 - ・その他
5. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

事務局 こんにちは。ごみ対策課長の伊藤でございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は磐田市のごみの減量施策の推進にご理解ご協力いただきまして厚くお礼申し上げます。

 それでは、ただいまより平成 28 年度第 2 回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。

2. 会長挨拶

会 長 こんにちは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。アイデアコンテストの表彰は初めてのことでありますが、どれをとりにしても特別なことで表彰されているのではなく、あたりまえのことで続けていくことで表彰されています。今後もこのようなことを続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

 それでは、お手元の次第に従いまして会議を進めてまいります。まず、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第 25 条第 2 項によりまして、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が有効に成立していることを、ここで報告申し上げます。

 それでは次第に従いまして議事を進めます。

3. 議事

- (1) 平成 29 年度ごみの排出削減に向けた取り組み（案）について
 - (2) 平成 29 年度一般廃棄物処理実施計画（案）について
- << (1)、(2) を事務局より一括して説明 >>

会 長 ただいまの説明につきまして、意見や質問がありましたらお願いします。

委 員 資料 2 ページの資源ごみの排出環境の充実について具体的に説明をお願いします。

事務局 具体的に検討しているのは交流センター長会議等での提案です。すでに設置されているところは実態調査と共に、古紙等資源回収奨励金の手順説明と合わせながら提案させていただきたいと考えています。地域によっては資源回収を積極的に行っているところも多く、PTA や自治会の一部運営費になっているところもあります。地域事情を考慮し問題ないようであれば設置の検討を提案していきたいと考えています。

委員 レジ袋削減の取り組みについて、スーパーなどでは5円を支払って袋を買うという仕組みになっていますが、相変わらずコンビニのレジ袋は排出量が多いと感じます。その対策はどのようなことを行っていますか。また、レジ袋をやめた場合の代替のものは何か考えていますか。

事務局 現在、市のレジ袋削減の対応としては、平成23年からレジ袋の有料化を推奨しています。市内事業者32店舗といわた消費者協会と市の三者で協定を結び、レジ袋削減の啓発をしています。加えていわた消費者協会さんの協力を得て、買い物袋持参運動を毎年10月に実施しています。既に32店舗は有料化されていたり、協定を結んでいないところでもポイント制度を導入するなどしていますが、コンビニエンスストアについては協定もなく、一消費者としてレジ袋の排出量が多いと感じています。

協力店以外でも協力を呼びかけていく一つの方法として、来年度はレジの段階でお客さんが断りやすいよう、表示プレートを店舗側にも協力してもらいながら設置したいと思っています。袋に代わるものではなく、買い物袋を持参するという考え方で市民の方に啓発をしていきたいと考えています。

委員 ごみ減量を推進する審議会であるため、資料のカラー印刷を必要とするところ以外はやめてはいかがでしょうか。

事務局 資料のカラー印刷についてご指摘ありがとうございます。磐田市役所としては原則としてカラー印刷を極力控えるべきと徹底してきています。しかし、担当者としてはわかりやすい資料を作りたいという思いもあって控えるべきと思いながら指摘しなかった私の責任です。必要最小限もしくはご理解いただいてやめるということも考えていきたいと思えます。

委員 文字はゴシックや太字などわかりやすく伝わりやすいよう、バランスを大切に経済的によりよい方法でお願いします。

事務局 強調するところは強調しながら、目的達成のためわかりやすい資料の作成に努めていきたいと思えます。ご意見ありがとうございます。

委員 レジ袋の削減について、買い物袋を出している間に先に店員さんが入ってしまうこともあるため、特にコンビニなどは店員さんに呼びかけてはいかがでしょうか。

事務局 問合せの多いものは現在の冊子でもよくある質問のページを作って掲載しております。現状をふまえ、問合せの多いものからスペースが許す限り掲載を行いたいと思っています。また、分別アプリでもよくある質問コーナーを作成し、電話による問合せをしなくても調べられるような環境を充実させていきたいと思っています。

委員 水切り器の費用はどのくらいですか。また、1,000 個だけでは少ないのではないのでしょうか。

事務局 浜松市さんもオリジナルの水切り器を作っています。単価は 150 円ほどかかります。相当数頼めば安くなると思いますが、万単位で発注をかけないと安くなりません。

委員 浜松市と共同で買うことで安くはできないのでしょうか。

事務局 浜松市とは抱えている課題が同じため情報交換を行っていますが、浜松市のものは家康君のロゴが入ってしまっているためそのまま使うことはできません。安価でできる良い方法があれば考えていきたいです。

委員 雑がみ回収について、会社で働いている時は細かく入れ物を分けて分別していました。小中学校にわざわざ雑がみ回収袋を配布するのではなく、組織的に分別できるようにしていけば袋はいらないのではないのでしょうか。

事務局 例えば、市役所から出る紙類はリサイクルを行っています。学校等でも雑がみの分別を行っているところもあります。今後さらに小中学校や磐田市全体で総合的に進めていければと思います。

委員 紙類の中にはリサイクルできるものとできないものがあると思います。リサイクルできるものが捨てられていることについてどう考えていますか。

事務局 紙類全てをリサイクルすることは現実的には不可能です。しかし、ごみ全体の 9 割が可燃ごみであり、そのうちの 3 割が紙類であることは違いないため、どこを減らすかの絞って意識啓発をしていきたいと考えています。具体的には、紙でできた菓子箱は可燃ごみに捨てられやすく資源として出そうという発想が根付いていないため、啓発していきたいと思っています。

委員	剪定枝の資源化について、草・木等を民間施設で処理する際の費用が高いと感じています。持ち込んでチップ化するものも有料ですか。
事務局	クリーンセンターに持ち込まれた木・枝類はチップ化しており無料で提供しています。持ち込んで処理するものについては一般の可燃ごみと同様に 10kg あたり 154 円で一律です。
委員	古紙の資源回収等の啓発にあたり、高齢者などでパソコンを持っていない人のために広報の工夫をされたらどうかと思います。
事務局	分別アプリあるいはホームページ、広報などで回収に向けた啓発は来年度も引き続き積極的に行っていきたいと思っています。継続的に取り組んでいかなければいけないことですので広報のスペースなど検討して行っていきたいと思っています。
委員	雑がみ回収袋を小中学校に配布するということですが、ただ配付するのではなくスタンプラリーやたくさん集めると市民プール無料券を配付するなど付加価値があれば協力してくれるのではないのでしょうか。プルタブのようにクラスごとに競いあって集めるようなものなら子どもが盛り上がり協力してくれるのではないかと子どもからアイデアをいただきました。
事務局	対象が小中学生であるため、動機づけになるようなことを考えられないか検討したいと思っています。
委員	ごみ分別アプリは 3 か国語対応ですが、それ以外の言語も追加したほうが良いのではないのでしょうか。また外国人の方へアプリを周知するためにはどのようなことを考えていますか。
事務局	アプリで外国語が対応しているのは分別検索の部分のみで、現在対応している言語は分別ガイドブックがあるものです。アプリ用に新たに翻訳すると膨大な費用がかかってしまいます。使っていただく方の意見をいただいてニーズの高いものについては検討し、バージョンアップしていきたいと考えています。周知の方法としては、外国語版ガイドブックの改訂版や毎年全戸配布させていただいているごみカレンダー等、市民の目に一番触れるものを中心に周知していきたいと考えています。
委員	ごみカレンダーに外国語版はあるのですか。

事務局 6か国語用意しています。

委員 水切り器の耐久性はありますか。耐久性がない場合ごみにならないか心配です。

事務局 使い方にもよりますが、少なくとも4、5年は使えると思います。

委員 普及させるには、モデル地区を作って検証してはどうでしょうか。

事務局 モデル地区としてやる方法か、モデルとしてある一定の団体に協力をお願いする方法が考えられます。小売店にも販売されていないため、物自体の普及とセットで誰もが手に入れられる状況になってからモデル地区について考えていきたいです。まだ啓発の域を越えず、どれくらいの数でどれだけ水分が減るかも不明の段階のため、物自体の普及も含め検討課題としながら考えていきたいと思っています。

委員 3ページのごみ排出状況のグラフは、家庭ごみだけの年間排出量でよろしいでしょうか。

事務局 事業系のごみも含んだ全てのごみ排出量となります。

委員 市民にPRするときに、1人1日あたりの排出量は約700グラムあり、その中で水分や紙の数量はこのくらいあるというように身近な数字で示せば、インパクトがあり市民の意識が働いていくと思います。
また、4万4千トン进行处理するにあたり、トン経費は2万円くらいでしょうか。経費を身近な数字でPRしていただければと思います。

事務局 市民の方に具体的でわかりやすい説明をしていきたいと思っています。
また、トン経費では出しておりません。資料がないため正確な数字ではありませんが、市民1人あたりの処理費用は年間約1万円くらいになると思います。出前講座を年間約20件行っており、1人1日あたりの排出量等については身の回りのもので例えるなどして紹介しています。

委員 ごみ排出困難者対策についてお聞きします。老人クラブに所属している方で、足を悪くし一人暮らしをしているお年寄りが一番困ることはごみを出すことだそうです。金物等は溜めておけますが、生ごみはそうはいきません。地域のごみ出しには排出時間もあり、頼む人もいません。市役所に聞いたところすぐに来てはくれず、2、3週間後に

なってしまうと言われ困ってしまったそうです。ごみ排出困難者への対策はどのようになっているのでしょうか。

事務局

おそらく粗大ごみの戸別収集という制度を紹介させていただいたと思います。本来はタンス等の粗大ごみを車で運ぶ手段のない方に有料で収集を行う制度です。通常の可燃ごみは想定していないため、その制度をご利用いただくということで2、3週間先のご案内をしたと思います。すぐに生ごみ等を取りに行ける制度はないため、社会福祉協議会の生活応援クラブの制度をご利用いただいているのが現状です。

今後ごみ出しができない、分別ができない方も多くなっていきます。市としても将来に向けて、家庭に小さなコンテナを設置し業者に集めてもらったり、環境衛生部門だけでなく福祉部門と一緒に考えるなど様々な回収方法を検討していきたいと考えています。

委員

ごみの回収時間は決まっていますか。

事務局

ごみ出しについては、業者は8時から回収を始めているため、市民の方には8時までに出していただくことで統一しています。

委員

ごみ減量アイデアコンテストを行ったばかりです。せっかく新しいものを買わずに広めようという時に、あえて水切り器という道具を配るのは矛盾が出るのではないのでしょうか。良いアイデアを広める、活かすことが大切ではありませんか。

事務局

水切り器や雑がみ回収袋に関してもそれがないとできないわけではなく、配付が目的ではありません。雑がみ回収袋も通常の紙袋を使ってもらえれば構わないです。あくまで啓発、意識づけのツールとして紹介をしているため、その部分に関しては間違えずに啓発していきたいと思います。

委員

もし新たに水切り器を作るのであれば、以前配付したものよりかさを大きくしたほうがよいと思います。以前のものでは握りこぶしぐらいの生ごみしか水を切ることができません。

事務局

以前のものは小さく使い勝手が良くなかったため、大きい方が使い勝手も良いと思いますので、サイズも含め確認したいと思います。

委員

事業所から出るごみの量はどれくらいありますか。

事務局	<p>お手元の資料にはありませんので、次回準備したいと思います。参考までに平成 27 年度の可燃ごみ排出量ですが、家庭ごみが 24,250 トン、家庭からのごみも含む自己搬入が 14,889 トンとなっております。</p>
委員	<p>雑がみについてですが、そもそも紙類が多くて市が困っているということが市民には伝わっていないと思います。知れば意識は変わっていくと思います。私自身、雑がみの出し方で紙袋に入れて出せることを知らなかったです。周知されておらず知らないから協力できないということもあると思います。知れば協力してくれる市民の方はたくさんいると思います。</p>
事務局	<p>インパクトのあるメッセージ・表現をすることで、市民の方にわかりやすい周知をしていきたいと思います。</p>
委員	<p>私が単身赴任をしているときの話ですが、ビンや缶などの資源ごみは月 1 回の回収で、それを逃すと溜まることが多く困っていました。以前住んでいた焼津市には、ミニステーションという資源ごみを常に出せる場所が 4 箇所ほどあり便利でした。常に出せる場所を確保しておくこと、出せる場所があればよいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>磐田市にもリサイクルステーションという資源ごみを収集している場所があります。焼津市ではどの品物まで集められているかわからないですが、一度そのようなところを見に行かせていただきたいと思います。また、リサイクルステーションで収集しているものを月に 1 回各地域で行う日曜収集もあります。これらを紹介しながら常設の場所がさらに必要であるか検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>可燃ごみの中にリサイクルできる雑がみが多いということなので、可燃ごみの袋自体に雑がみはリサイクルできることや排出場所等を記載すれば、捨てるのではなくリサイクルにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>また、雑がみ回収袋にスポンサー広告を入れているように、ごみ袋にもスポンサー広告を入れ、その収入をデザイン変更の費用にあててみてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>袋自体に直接記載することは、とても効果があると思います。現在、袋を業者さんに作ってもらっているなかで、デザイン変更となると様々な面で負担がかかってしまうこともあるので、タイミングをみて将来的には考えていく必要があるかと思っています。</p>

広告については、行政も民間業者の広告を入れることがあたりまえになってきていますので、検討していきたいと思います。

委員 1人1日あたりの排出量を出すことはとてもよいと思います。生ごみに含まれる水分が50%あるなかで、市民がひとしぼりすると燃焼コストがこれだけ下がるというような数値があると市民も協力しやすいのではないかと思います。

事務局 ごみの減量と費用面をリンクさせた形の広報なども考えてみたいと思います。

委員 古紙を排出する際、新聞・雑誌・段ボールと分けていますが、雑がみと新聞のリサイクルの方法は違うのでしょうか。

事務局 何に変わるかの違いはあります。処理方法の過程は物によって違うため、素材によってできるものは異なります。

会長 ご意見・ご提案ありがとうございます。すべてのご意見・ご提案を組み込めるかどうかは分かりませんが、事務局は内容を精査して実施できるものは取り入れてください。

また、この場ですぐに提案事項は出てこない方もいらっしゃると思います。事務局の方で意見・提案シートを用意してありますのでご意見・ご提案事項がありましたら事務局へ提出してください。この後、報告事項の中で市の行っている取り組みなどが紹介されますので参考にさせていただければと思います。

続いて次第4. 報告について事務局より説明をお願いします。

4. 報告

(1) 今年度の主な取り組み

(2) その他

《(1)、(2)を事務局より一括して説明》

会長 ただいまの説明につきまして、意見や質問がありましたらお願いします。

委員 《意見・質問なし》

事務局 無いようですので、これにて質疑を打ち切ります。

5. 閉会

- | | |
|-----|---|
| 会長 | 以上で、本日の審議はすべて終了いたしました。大変熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。それでは事務局にお返しします。 |
| 事務局 | 貴重なご意見をありがとうございました。ただいまをもちまして、第2回審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。 |